

第 5 学 年 算 数 科 学 習 指 導 案

日 時 平成 1 6 年 9 月 3 日(金)
 1 校 時 5 年 1 ・ 2 組
 児 童 5 年 1 組 男 13 名 女 16 名
 5 年 2 組 男 13 名 女 16 名
 指 導 者(場) A コー ス 講 師 槻 舘 健 示(5 年 1 組 教 室)
 B コー ス 教 諭 三 浦 弘 子(やまねこ ー ル ー ム)
 C コー ス 教 諭 沢 口 律 子(5 年 2 組 教 室)

1 単元名 「小数のかけ算とわり算を考えよう」

2 単元の目標

乗数が小数の場合の乗法や、除数が小数の場合の除法の意味とその計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を伸ばす。また、計算法則は数範囲が小数の場合でも成り立つことを理解する。

【関心・意欲・態度】 ・乗数や除数が小数の場合でも、既習の整数の計算の数量関係などをもとにして、乗法や除法の式に表そうとする。

【数学的な考え方】 ・整数の乗法、除法計算と関連づけて、乗数が小数の乗法、除数が小数の除法の計算のしかたを考える。

【表現・処理】 ・乗数が小数の乗法、除数が小数の除法の計算をすることができる。

【知識・理解】 ・乗数が小数の乗法、除数が小数の除法の意味やその計算のしかたを理解する。

3 単元について

小数の乗法・除法については、第 2 単元「小数のかけ算とわり算を考えよう」で、小数×整数、小数÷整数の計算方法や筆算形式を学習している。本単元のねらいは、「×小数」「÷小数」の意味（乗法、除法の意味の拡張）と、その計算方法を理解させるとともに、乗(除)数が小数の場合でも、乗(除)数が整数の時と同じように乗(除)法が適用できるという乗法・除法の意味の拡張を図ることである。そのためには、問題場面の立式のしかたを考える中で乗法・除法のどちらにおいても整数の場合と対比させ、乗数・除数が小数の場合も整数と同じ構造であることをとらえさせることが大切である。また、本単元では計算法則の小数への拡張、商の概数処理、小数の乗除の意味の拡張までを学習内容としている。

本単元にかかわる児童のレディネステストの結果は以下の通りである。

小数×整数の筆算	3.7×4	1.6×3.8	90%
小数÷整数の筆算	$9.6 \div 4$	$97.2 \div 2.7$	92%
小数×整数の文章問題	0.8×3		立式93% 正答93%
小数÷整数の文章問題	$7.2 \div 9$		立式95% 正答89%
小数×小数の筆算(未習)	1.3×3.7		18%
小数÷小数の筆算(未習)	$10.5 \div 4.2$		9%

どの児童も計算問題に対して意欲的に取り組むことができるが、個々の理解度や筆記速度などの差により、同じ時間内に取り組む問題量にはかなりの差が生じている。特に筆算のけた数が多い場合や小数点の打ち忘れ、位置の間違いなどのケアレスミスも多い。本単元では被乗(除)数、乗(除)数ともに小数であることから、既習の筆算形式を拡張させ筆算の過程で生じる数の意味合いと小数点の位置を考えさせながら、正確に筆算ができるようにさせていきたい。また、指導形態等に関しての児童の意識調査の結果は以下の通りである。

		好 き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌 い
算数の学習は好きですか		57%	33%	7%	3%
進め方について	一斉学習は好きですか	12%	38%	33%	17%
	TT学習は好きですか	24%	47%	21%	8%
	2コース学習は好きですか	24%	57%	14%	5%
	3コース学習は好きですか	76%	19%	5%	0%

(主な理由記述) 好き 嫌い

一 斉 学 習	皆と学習できる。遅れないから 先生が一人で皆を見るのに時間がかかる(丸つけ等) 時間内にできないから 分からない人もいると思う	3 コ ー ス 学 習	いろいろ比べて好きなコースを選べる 本当の自分の力と同じコースを選べるし、やりやすいから いろいろな先生に教えてもらえる 自分のペース(自分に合ったコース)のできるから ゆっくりやるとじっくりわかるから ゆっくり教えてもらえるから 計算がおいつけるようにしたいから 丸つけを待たなくてもいい 隣の組の人と一緒にだと発表するぞという気になる 楽しくて分かりやすい 隣の組の人の意見も聞けるし、仲良くなるから 3つだと多すぎて選ぶのが困る
T T 学 習	速く丸をつけてもらえる 二人の先生だとわかりやすい 先生が何人もいると混乱する 意味がわからなくなる		
2 コ ー ス 学 習	好きなコースを選んで、人も少ないから 同じ組の方が考えがわかるから 人数が少ないのであててもらえる 2つしか選べないから		

今まで児童は、整数の乗法において積は必ず被乗数より大きくなる場合を扱っている。本時は、小数の乗法計算で純小数をかけると、積が被乗数よりも小さくなることを理解させることにある。そこで、数直線図を活用しながら1よりも小さい数をかけた時の積の大きさを視覚的にとらえさせながら理解を図りたい。

4 研究の視点にかかわって

本単元では主に習熟の段階で筆算形式を定着させていく学習内容である。本単元にかかわる第2単元「小数のかけ算とわり算を考えよう」では、実態としてとらえた児童個々の計算能力の差に対応するには、一斉学習よりも習熟度別(コース)学習が効果的であると考え、実践した。その結果、レディネスや単元テストにおいてどの児童も高い定着率を示している。未習の本単元にかかわる問題については、ほとんどできていないことが確認されたため、本単元も習熟度別(コース)学習を行うこととした。そこで前単元と同じくコースの設定は教師が行い、Aコース(はやはやコース)は「自力でできるだけ考え、どんどん練習問題を行うコース」・Bコース(かえるコース)は「友達との考えの交流の中で確実に学習内容を理解し、練習問題に取り組もうとするコース」・Cコース(ゆっくりコース)は、「本時の学習内容を一つ一つ教師と確かめながら、確実に習得しようとするコース」とした。3コースともに毎時間の学習内容(問題・課題・まとめ)を同一のものとし、コースが違ふことで児童に不安感や差別感を持たせないように配慮した。コース選択は前単元同様に児童の希望を優先しながら決定した。また小単元毎に評価テスト・次小単元のレディネステストを行い、次小単元のコース希望をとるようにする。その際には変更を認め、自分に適したコースを選択できるように教師側もアドバイスしていきたい。単位時間の指導においては3つのコースともに個々の児童の習熟度に対応していくために、自力解決の段階と適用問題に取り組む段階において個別に支援しながら、学習内容の定着に努めていきたい。

小単元	時間	目 標	学 習 活 動	評 価 規 準	具 体 の 評 価 規 準			指 導 形 態
					十分満足できる状況	概ね満足できる状況	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	
小数のかけ算 = 8時間 =	1・2	・小数をかけることの意味と整数×小数(1/10の位まで)の計算のしかたを理解する	・立式を考える ・ 80×2.7 の計算のしかたを考える ・ 80×2.7 の計算のしかたをまとめる	(関) 既習の整数×整数、小数×整数などに関連づけて、整数×小数(1/10の位まで)の計算のしかたを考えようとしている	・問題場面から 80×2.7 と立式でき、その根拠を多様な方法で考えようとしている	・問題場面を、言葉の式や数直線などから 80×2.7 と立式しその意味を考えてようとしている	・問題場面を、図や数直線などを手がかりにしながら、整数の場合と同じ関係であることに気付かせ、立式に導く	TT
	3	・1/10の位までの小数どうしをかける筆算のしかたを理解し、その計算ができる	・立式を考える ・ 2.3×2.8 の筆算のしかたを考える ・1/10の位までの、小数どうしをかける筆算のしかたをまとめる	(考) 整数の乗法の筆算のしかたに帰着して、1/10の位までの小数どうしをかける筆算のしかたを考えている	・1/10の位までの、小数どうしの乗法の筆算を既習の乗法の筆算をもとにして考え、説明できる	・1/10の位までの、小数どうしの乗法の筆算を既習の乗法の筆算をもとにして考えている	・計算の仕方を考えられない児童には、被乗数や乗数を整数にするにはそれぞれ何倍すればよいかを考えさせる	2C3T 3コ-ス 学習
	4	・1/10の位までの小数どうしをかける計算(末尾の0を処理したり、0を補う場合)ができる	・ 4.2×7.5 、 0.4×2.3 の、計算のしかたを考える ・末尾の0を処理したり、0を補う型の計算練習をする	(表) 1/10の位までの小数どうしの計算(末尾の0を処理したり、0を補う場合)ができる	・1/10の位までの、小数どうしをかける計算(末尾の0を処理したり、0を補う場合)が正確にできる	・1/10の位までの、小数どうしをかける計算(末尾の0を処理したり、0を補う場合)ができる	・誤答を分析しながら、個別に支援する	
	5 = 本時 =	・純小数をかけると、積は被乗数より小さくなることを理解する	・ 80×1.8 と、 80×0.8 の計算をして積と被乗数の大きさを比べる ・純小数をかけると、積が被乗数より小さくなることをまとめる	(知) 純小数をかけると積が被乗数より小さくなることを理解している	・純小数をかけると、積が被乗数より小さくなるのが分かり、計算することができる	・純小数をかけると、積が被乗数より小さくなるのが分かる	・数直線図で、乗数が1より小さいことを確かめ、被乗数と積の大小関係を確認する	
	6	・長方形の辺の長さが小数の場合も面積公式が適用できることを理解する	・縦2.3cm、横3.6cmの長方形の面積の求め方を考える ・長方形の中に、1辺が1mmの正方形が何個あるかを調べてから 2.3×3.6 の計算で求める	(知) 長方形の辺の長さが小数の場合でも、面積公式を適用して面積が求められることを理解している	・長方形の辺の長さが、小数の場合も面積公式が適用できるのが分かり、問題を解くことができる	・長方形の辺の長さが、小数の場合も面積公式が適用できるのが分かり、場面をとらえて立式ができる	・長方形の辺の長さが、小数の場合は、単位を変えれば整数のかけ算で、求められることを確かめさせる	
	7	・小数の場合でも交換、結合分配法則が成り立つことを理解する	・ $x = x$ 、 $(x)x = x(x)$ $(+)x = x + x$ の式に、小数をあてはめて、式が成り立つか調べる	(知) 小数の場合でも交換、結合、分配法則が成り立つことを理解している	・小数の場合でも交換、結合、分配法則が成り立つことが分かり、問題を解くことができる	・小数の場合でも交換、結合分配法則が成り立つことが、分かる	・式に当てはめて、計算のきまりが整数の場合と同じように成り立つことを確かめさせる	
	8	・学習内容に習熟する ・学習内容の理解を深め、算数への興味を広げる	・「練習」をする [チャレンジ]電卓を用いた数当て手品をする ・[発展]1/100の位以下の小数のかけ算について考える	(表) 乗数が小数の乗法計算ができる	・乗数が小数の乗法計算が、正確にできる	・乗数が小数の乗法計算が、できる	・誤答を分析しながら、個別に支援する(小数点のうごめ忘れ・0の消し忘れ等)	
	小数のわり算 = 8時間 =	1・2	・小数でわることの意味と、整数÷小数(1/10の位まで)の計算のしかたを理解する	・立式を考える ・ $200 \div 2.5$ の、計算のしかたを考える	(考) 既習の整数÷整数、小数÷整数に関連づけて、整数÷小数(1/10の位まで)の計算のしかたを考えている	・問題場面から、 $200 \div 2.5$ と立式でき、その根拠を多様な方法で考えようとしている	・問題場面を、言葉の式や数直線などから $200 \div 2.5$ と立式しその意味を考えようとしている	・問題場面を、図や数直線などを手がかりにしながら、整数の場合と同じ関係であることに気付かせ、立式に導く
3		・1/10の位までの小数どうしの除法の筆算のしかたを理解し、その計算ができる	・立式を考える ・ $7.8 \div 6.5$ の、計算のしかたを考える ・小数÷小数の、筆算のしかたをまとめる	(考) 整数の除法の筆算のしかたに帰着して、1/10の位までの小数どうしの除法の筆算のしかたを考えている	・1/10の位までの、小数どうしの除法の筆算を既習の除法の筆算をもとにして考え、説明できる	・1/10の位までの、小数どうしの除法の筆算を既習の除法の筆算をもとにして考えている	・計算の仕方を考えられない児童には、被除数や除数を整数にするにはそれぞれ何倍すればよいかを考えさせる	2C3T 3コ-ス 学習

小単元	時間	目 標	学 習 活 動	評 価 規 準	具 体 の 評 価 規 準			指 導 形 態
					十分満足できる状況	概ね満足できる状況	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	
小数のわり算 ＝ 8 時間＝	4	・ 1/10の位までの小数どうしの除法の計算(商が純小数や、0を補う場合)ができる	・ 2.8÷3.5、1.8÷2.4などの筆算のしかたを考える ・ 商が純小数や、0を補う型の計算練習をする	(表) 1/10の位までの小数どうしの除法の計算(商が純小数や、被除数に0を補う場合)ができる	・ 1/10の位までの、小数どうしの除法の計算(商が純小数や、被除数に0を補う場合)が正確にできる	・ 1/10の位までの、小数どうしの除法の計算(商が純小数や、被除数に0を補う場合)ができる	・ 誤答を分析しながら、個別に支援する(一の位に0を立てる・わられる数に0をつけたす・被除数が整数のとき等)	2C3T 3コ-学習
	5	・ 純小数でわると、商は被除数より大きくなることを理解する	・ 240÷1.2と、240÷0.8の計算をして商と被除数の大きさを比べる ・ 純小数でわると、商が被除数より大きくなることをまとめる	(知) 純小数でわると、商は被除数より大きくなることを理解している	・ 純小数でわると、商が被除数より大きくなるのが分かり計算をすることができる	・ 純小数でわると、商が被除数より大きくなるのが分かる	・ 数直線図で、除数が1より小さいことを確かめ、被除数と商の大小関係を確認する	
	6	・ 小数の除法におけるあまりの位取りについて理解する	・ 2.5lのジュースを0.7l入りの水筒に入れると何個できて、ジュースはどれだけあまるかを考える ・ 小数の除法における、あまりの小数点のうつ位置につ	(表) あまりのある場合の小数の除法計算ができる	・ 小数の除法における、あまりの小数点のうつ位置が分かりあまりのある場合の小数の除法計算が正確にできる	・ 小数の除法における、あまりの小数点のうつ位置が分かりあまりのある場合の小数の除法計算ができる	・ あまりは、除数より小さくなることを想起させ、正しいあまりを考えさせる	
	7	・ 小数の除法の答えを概数で表すときの処理のしかたを理解する	・ 面積7.2m ² の長方形の花だんで横の長さが2.9mのときの、縦の長さを2けたの概数で求める	(表) 小数の除法の答えを必要に応じて概数で表すことができる	・ 小数の除法の答えを、概数で表すときの処理のしかたが分かり、問題を解くことができる	・ 小数の除法の答えを、概数で表すときの処理のしかたが分かる	・ 上から2けたの数え方を確かめさせてから四捨五入させる	
	8	・ 学習内容に習熟する	・ 「練習」をする ・ [発展]1/100の位以下の小数のわり算について考える	(表) 除数が小数の除法計算ができる	・ 除数が小数の除法計算が、正確にできる	・ 除法が小数の除法計算が、できる	・ 誤答を分析しながら、個別に支援する(小数点の消し忘れあまりの小数点の間違い等)	
小数倍とかけ算わり算 ＝ 3 時間＝	1	・ 比較量、基準量が小数のときも倍は除法で求められることを理解する	・ 3.6km、1.8kmは2.4kmの何倍かを求める方法を考える ・ 比較量、基準量が小数の場合でも倍を求めるには除法を使うことをまとめる	(考) 比較量、基準量が小数の場合でも、何倍かを求めるには、整数の場合をもとに発展的に考えている	・ 比較量、基準量が小数の場合でも、何倍かを求めるには、整数の場合をもとにして発展的に考え、説明できる	・ 比較量、基準量が小数の場合でも、何倍かを求めるには、整数の場合をもとにして考えることができる	・ 図を見て、比べられる量ともとする量の関係をとらえさせ、既習の整数のときは除法で立式できたことを想起させる	T T
	2	・ 倍を表す数が小数のときも比較量は基準量×何倍で求められることを理解する	・ 5mの3.5倍、0.6倍の長さの求め方を考える ・ 小数倍のときも、比較量は基準量の何倍で求められることをまとめる	(考) 倍を表す数が小数の場合でも、小数倍にあたる大きさを求めるには、整数の場合をもとに発展的に考えている	・ 倍を表す数が、小数の場合でも小数倍にあたる大きさを求める時に、整数の場合をもとにして発展的に考え、説明できる	・ 倍を表す数が、小数の場合でも小数倍にあたる大きさを求める時に、整数の場合をもとにして考えることができる	・ 整数倍の時の立式を、想起させ数直線図を手がかりとして乗法と関連することに気づかせる	
	3	・ 倍を表す数が小数のときも基準量は比較量÷何倍で求められることを理解する	・ 63kgが基準量の1.8倍にあたる時の、基準量の求め方を考える	(表) 倍を表す数が小数の場合でも、基準量は比較量÷何倍で求めることができる	・ 倍を表す数が、小数の場合でも基準量を比較量÷何倍の式で正確に求めることができる	・ 倍を表す数が、小数の場合でも基準量を比較量÷何倍の式で求めることができる	・ 数直線図を手がかりに、もとにする大きさを で表した乗法の式から、逆算で除法の式を導く	
	まとめ	1	・ 学習内容の理解を確認する ・ 学習内容の理解を深め、算数への興味を広げる	・ 「たしかめ」をする [チャレンジ]電卓を用いた数当て手品をする	(関) 電卓を用いて除法の計算をしようとしている	・ 電卓を用いた除法の計算に、進んで取り組んでいる	・ 電卓を用いた、除法の計算の方法が分かり、取り組んでいる	

6. 本時の展開

(1) 目標 純小数をかけると、積は被乗数より小さくなることを理解する。

(2) 展開 (Aコース はやはやコース)

段階	学習活動	教師の働きかけ・児童の反応	留意点
8分	1 問題を解き、学習課題を把握する	1 問題を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 1 mのねだんが80円のリボンがあります。このリボン1.8m, 0.8mの代金は、それぞれ何円ですか。 </div> 2 式を立て、答えを求めさせる。 式 $80 \times 1.8 = 144$ (答え) 144円 式 $80 \times 0.8 = 64$ (答え) 64円 何か気づいたことはありませんか。 ・ かける数が1より小さい。 ・ 1より小さい数をかけると積が小さくなりそう。 3 課題をつかませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> かける数と積の大きさの関係を調べよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ かける数の大きさが違うことに気づかせる。 ・ 数直線図をもとにして考えさせるようにする。 ・ 筆算をさせ、答えの違いに気付かせる。
23分	2 かける数と積の大きさの関係を考える 3 考えを発表し、かける数と積の大きさの関係を確かめる	4 見通しをもたせる。 どの関係がありそうですか。 ・ 1より小さい数をかけると積が小さくなる。 ・ かける数が1より小さいと積がかけられる数より小さくなる。 どの方法で調べますか。 ・ 数直線図, 計算, 図 5 自力解決をさせる。 ・ 数直線図に代金と長さを表し、関係を考える。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 0 80 (円) </div> <div style="margin-left: 20px;"> 0 0.8 1 1.8 2 (m) </div> </div> ・ に数を当てはめ、かける数と積の関係を考える。 $80 \times$ 6 考えを発表させる。 ア 数直線図から ・ 0.8をかけると積が80より小さくなる。 ・ 1より小さい数をかけると、積はかけられる数より小さくなる。 イ 計算から ・ 1より小さい数をかけると、積が80より小さくなる。 ・ 1より大きい数をかけると積はかけられる数より大きくなる。 7 類題をさせ、確認する。 (教科書 P72) 6×0.9 6×1.4 6×0.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数直線図から、0.8をかけたとき積は80より小さくなることに気づかせ、被乗数と積の関係について考えさせる。 ・ 数直線図(プリント)を事前に用意しておく。 ・ 見つけた関係を書かせる。 ・ 数直線図を用いて、かける数と積の大きさの関係を説明させる。 ・ 具体物と数直線図を対応させながら、0.8m以外の1m以下の長さのときも80円より代金が少なくなるか確かめる。 ・ 類題は、計算せず式を見て判別することを確認する。(早くできた児童には筆算をして確かめさせる)
14分	4 まとめる	8 まとめをさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 小数のかけ算では、1より小さい数をかけると、その積はかけられる数より小さくなります。 </div> 9 たしかめ問題をさせる。 4.6×0.8 1.3×0.1 70×1.1 8×2.4 0.6×0.5 10 学習感想を書かせる。 11 次時の学習内容を知らせる。	(評) B 5問中4問正解 A 全問正解 Cの児童への手立て 数直線図を見せ、被乗数、乗数の関係を気づかせる。 ・ 次時は小数のかけ算をつかって面積を求めることができるかを考える。

(評)

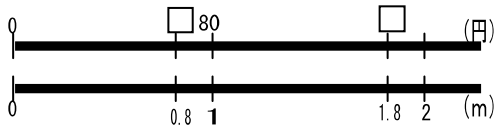
B 5問中5問正解

A 5問中5問正解 + 教科書P72の 全問正解

Cの児童への手立て

数直線図を見て、かけられる数、かける数の関係に気づかせる。

(Bコース かえるコース)

展開	学習活動	教師の働きかけ・児童の反応	留意点
つ か む 10分	1 問題を解き、学習課題を把握する	1 問題を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> 1mのねだんが80円のリボンがあります。このリボン1.8m, 0.8mの代金はそれぞれ何円ですか。 </div> 2 式を立て、答えを求めさせる。 式 $80 \times 1.8 = 144$ 答え 144円 式 $80 \times 0.8 = 64$ 答え 64円 何か気付いたことは、ありませんか。 ・ かける数が1より小さい。 ・ 1より小さい数をかけると積が小さくなりそう。 3 課題をつかませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> かける数と積の大きさの関係を調べよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物から数直線図を提示し、既習事項をもとに式を立てさせる。 ・立てた式を比べさせ、かける数の違いに気付かせる。 ・筆算をさせ、答えの違いから、かける数と積の大きさの関係について気がついたことを発表させる。
た し か め る 25分	2 かける数と積の大きさの関係を考える 3 考えを発表し、かける数と積の大きさの関係を確かめる	4 見通しをもたせる。 どんな関係がありそうですか。 ・ かける数が大きくなると、積が大きくなる。 ・ かける数が1より小さいとかけられる数より積は小さくなる。 どんな方法で調べますか。 ・ 数直線図で ・ 計算で 5 自力解決をさせる。 ア 数直線図に代金と長さを表し、関係を考える。  イ $80 \times$ の計算を行い かける数と積の関係を考える。 6 考えを発表させる。 ア 数直線図から ・ 0.8をかけたときは、 の位置から積が80より小さくなる。 ・ 1より小さい数をかけると、積はかけられる数より小さくなる。 イ 計算より ・ かける数が大きくなると、積も大きくなる。 ・ かけ算でもかける数が1より小さいときは、積はかけられる数より小さくなる。 7 類題をさせ、確認する。 教科書 P72	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線図から、数直線上の乗数の大きさと関連づけて被乗数と積と大小関係について考えさせる。 ・数直線図(プリント)は事前に準備しておく。 ・1より大きいか小さいかで考えさせる。見つけた関係はノートに書かせる。 ・ の中に数を代入し、見通しが正しいかどうか確かめる。 ・数直線図をもとに説明させる。 ・具体物と数直線図を対応させながら、1mより小さい0.8m以外の代金について確かめさせる。 ・類題は、計算せず式を見て判別できることを確かめる。(早くできた児童には筆算をして確かめさせる)
ひ ろ げ る 10分	4 まとめ	8 まとめをさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> 小数のかけ算では、1より小さい数をかけると、その積はかけられる数より小さくなります。 </div> 9 たしかめ問題(5問)をさせる。 4.6×0.8 1.3×0.1 70×1.1 8×2.4 0.6×0.5 10 学習感想を書かせる。 11 次時の学習内容を知らせる。	(評) B 5問中4問正解 A 全問正解 Cの児童への手立て 数直線図で乗数と被乗数の関係を確認させる。 ・次時は小数のかけ算を使って、面積を求められるか考えます。

7 板書計画

9 / 3	小数のかけ算		
P 7 2	問題	課題	まとめ
	1mのねだんが80円のリボンがあります。 このリボン1.8m、0.8mの代金はそれぞれ何円ですか。	かける数と積の大きさの 関係を調べよう。	小数のかけ算では、1 より小さい数をかけると その積はかけられる数よ り小さくなります。
	式 $80 \times 1.8 = 144$ 答え 144円 式 $80 \times 0.8 = 64$ 答え 64円		
	かける数が大きくなると、答えも 大きくなる。		
数直線図 計算	児童の考え	確かめ問題	

(Cコース ゆっくりコース)

段階	学習活動	教師の働きかけ・児童の反応	留意点
つかむ 12分	1 問題を解き、学習課題を把握する	<p>1 問題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1 mのねだんが80円のリボンがあります。このリボン1.8m、0.8mの代金はそれぞれ何円ですか。 </div> <p>2 式を立て、答えを求めさせる。 式 $80 \times 1.8 = 144$ (答え) 144円 式 $80 \times 0.8 = 64$ (答え) 64円 ○何か気づいたことはありませんか。 ・0.8 mの代金は1 mの代金より少ない。 ・かけ算なのに答えが小さくなっている。</p> <p>3 課題をつかませる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> かける数と積の大きさの関係を調べよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を提示し、題意をとらえやすくする。 ・立てた式を比べてかける数の大きさの違いに気付かせる。 ・筆算をさせ、答えの違いから気付いたことを発表させる。 ・数直線図から、0.8が1より小さい数であることを確認する。
たしかめる 23分	<p>2 かける数と積の大きさの関係を考える</p> <p>3 考えを発表し、かける数と積の大きさとの関係を確かめる</p>	<p>4 見通しをもたせる。 ○どんな関係がありそうですか。 ・かける数が1より小さい時は、もとの数の80円より少なくなる。 ○どんな方法で調べますか。 ・数直線図で。 ・計算で。</p> <p>5 自力解決をさせる。 ア 数直線図に代金と長さを表し、関係を考える。</p> <p>イ $80 \times$ の計算を行い、かける数と積の関係を考える。</p> <p>6 考えを発表させる。 ア 数直線図から ・1.8mは1より0.8だけ多いから答えは80円より多くなる。 ・0.8mは1より0.2だけ少ないから答えは80円より少なくなる。 イ 計算から ・1より大きい数をかけると、積は80より大きくなる。 ・1より小さい数をかけると、積は80より小さくなる。</p> <p>7 類題をさせ確認する。(教科書 P72)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線図から、かける数が1より大きいかが小さいかがポイントであることを確認する。 ・数直線図(プリント)を用意しておく。 ・机間巡視をしながら、分かったことを自分の言葉で書けるように支援する。 ・の中に数を代入して、見通しが正しいか確かめる。 ・数直線図をもとにしながら、説明させる。 ・具体物と数直線図を対応させながら1m以下の長さの時は80円より少ないことを確かめる。 ・かける数が1より小さい数の時に、積がかけられる数より小さくなることに気付かせる。 ・類題は計算せず式を見て判別できることを確かめる。
ひろげる 10分	4 まとめる	<p>8 まとめをさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 小数のかけ算では、1より小さい数をかけると、その積はかけられる数より小さくなります。 </div> <p>9 たしかめ問題をさせる。 4.6×0.8 1.3×0.1 70×1.1 8×2.4 0.6×0.5</p> <p>10 学習感想を書かせる。</p> <p>11 次時の学習内容を知らせる。</p>	<p>(評)</p> <p>B 5問中4問正解 A 全問正解 Cの児童への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線図を見せ、かけられる数とかけられる数の関係を確認させる。 ・次時は小数のかけ算を使って、面積を求めることができるかを考える。

評価 純小数をかけると、積は被乗数より小さくなるのが分かる。